

平成29年度第3回利根町地域自立支援協議会 議事録

日時：平成30年2月28日（水）13時～

場所：利根町役場5-A会議室

出席委員：10名

協議内容

1. 各部会の活動報告

(1) 相談支援部会の活動報告

(部会委員) 昨日圏域での部会があり参加した。内容としては法改正による報酬改定についての確認を行った。また、併せて消費生活センターの講演とグループワークを行った。市町村ごとに消費生活支援センターが設置されているため活用して欲しい旨の話があった。

(2) 防災部会の活動報告

(部会長) とね広報の3月号に「精神障害のある方を支援する時」という内容で記事を掲載する。掲載の目的は、障害や支援の方法について周知をしておくことであると考えている。

また、「障害児・者サポート手帳」について併せて掲載している。次回は視覚障害者向けの支援について掲載を予定している。

2. 地域生活支援拠点の整備について

3. 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて

(委員長) 前回の協議会より引き続きの議題となる。議題2の地域生活支援拠点の整備について及び議題3の精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて併せて協議を行いたい。

(委員) 前回の協議会より引き続きとなるため、改めて説明させていただきたい。

【前回の議事録より抜粋】

地域生活支援拠点については、国の基本方針として平成32年度末までに障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための体制づくりを地域の実情に応じ整備することとしている。また、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについては、国の基本方針として精神障害者が、地域で生活できるよう、医療、障害福祉、介護、住まい等、包括的に地域生活に関する相談に対応できる支援体制を構築していくよう、整備を目指している。

(委員) 地域にある社会資源を活用し、整備して行く必要がある。また、平成 30 年 4 月から自立生活援助が新設される。このサービスは障害者支援施設やグループホーム等から一人暮らしを希望する知的障害者や精神障害者等について、地域生活を支援するために一定期間にわたり、定期的な巡回訪問や助言等の支援を行うサービスである。国はこれらのサービス等を活用し、地域移行を進めて行きたいと考えている。

4. その他

(1) ストラップ型ヘルプマークについて

(委員) 稲敷市で作成している、ストラップ型ヘルプマークについて周知させていただきたい。ヘルプマークがストラップ型になっており、鞆等にぶら下げる等して利用することができる。見た目からは障害があるか判断が付かない方でもこれを利用することにより、支援を必要としている方だと一目で分かる。

(2) 町の災害時の避難訓練について

(委員) 災害時の避難訓練は行なっているか。

(事務局) 障害者を対象としたものではないが、年 2 回役場内で防災訓練を行なっている。

(3) 避難行動用支援者登録制度について

(委員) 避難行動要支援者登録制度について普及されていないのではないかと。

(委員) 福祉課で担当している。民生委員が協力をし、対象となる方で登録をしたい方には申請を行ってもらっている。

(4) 障害福祉サービス利用者の 65 歳問題

(委員) 5 年程前から、障害者総合支援法及び介護保険の併用について厚生労働省より通知されているが、利根町の対応はどうか。

(事務局) 対象者が 1 名おり、対応していたが、現在は自己都合によりサービスの利用を停止している。

(5) 伝導ループの導入について

(事務局) 伝導ループについて問い合わせがあり、導入を検討している。伝導ループとは聴覚支援機器であり、ループアンテナ内で誘導磁界を発生させ、音声磁場を作り補聴器や人工内耳、又は専用受信機等を利用してマイクの音を直接伝える装置である。

今、現在、利根町では導入していないが周辺市町村では導入を行っている。この場を借りて導入についての協議をさせていただきたい。

(委員長) 各自検討していただき、次回の協議会で協議を行うこととする。

○次回の協議活動の報告

- ・各部会の活動報告
- ・ひきこもりに対する支援について
- ・伝導ループの導入について